

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考えや意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。



厳しい財政だからこそ、今でしょ！

とくち まさひろ
戸口 勝が問う

町民会館の管理運営は一本化を

Q 一つの建物で、各階別々の管理はもつたない。財政難と人口減少の現実を勘案し、簡素な体制を柔軟に考えていく必要があると思うが。

A 生涯学習課長 文化やコミュニティ、また生涯学習の拠点として各々役割を担っています。複合施設として生まれ変わるに当たりすぐに一本化は難しいですが、利用者の声で分かりやすく、親しみやすい施設にまずは努めます。

旧中央公民館の跡地利用は

Q 町単独の開発は厳しいので、民間の手法を活用して店舗と福祉の窓口、商工団体等の複合施設を考えてみては。

A 政策推進課長 官だけでも民だけでもない相乗効果を期待できる施設として、また駅前広場整備の代替地利用は選択のひとつです。

伝統工芸伝承・育成の地へ

Q 埼玉伝統工芸会館と旧上野台中学校エリアを、大学や専門学校サテライト分校として誘致交渉してみないか。

A にぎわい創出課長 国や県等関係機関への働きかけは、現在行っています。貴重な提案として、ご提示のエリアに限らず町域への設立誘致ができるか研究してみます。



伝承者育成の拠点にしていくことは、何ら不自然ではない埼玉伝統工芸会館。



先生がへとへとは、子供たちをよく見られませんか。

かさほろ たけし
笠原 武が問う

教職員の長時間労働の改善を

Q 町立小中学校教職員の直近の残業時間調査の結果は。

A 学校教育課長 平成30年12月における1カ月間の町立小中学校教職員の勤務時間を除く在校時間の平均は、約29時間20分でした。

Q 超過勤務削減には教員数を増やすことが基本だが、それ以外に町教育委員会はどうな取り組みの努力をしているか。

A 学校教育課長 県教育委員会に対して基本定数以外に加配や特配3を申請し、町立全小中学校に加配教員が配置さ



プリム跡地の堰堤。この中に150万㎡もの残土搬入は自然破壊。

プリム跡地への残土搬入計画は中止を

Q 今回、さくら太陽光センター合同会社による標記計画については、自然破壊や大雨時の土砂崩れも予想される。町は地域住民の「絶対反対」の意向に沿って、県に対し「町としては反対」の態度をはっきり示してほしいが。

A 環境農林課長 説明会では多くの住民から不安・不信・疑念の声がありました。県と緊密な連携を図り、対処していきたいと思えます。



許可後は1日4000台の車が3年もの出入りですよ。

かねこよしのり
金子美登が問う

旧プリム跡地の残土処分問題は

Q さくら太陽光センター合同会社が、旧プリムローズ跡地を借り、残土処分事業を行なうという。2回の説明会で地元の人1人納得していない。そこで何う。

A 環境農林課長 「土砂の探掘場所の届け出」を3カ月ごと、「土砂の汚染状況の結果」を6カ月ごとに提出するものとしています。

Q 「地質分析結果証明書」には放射能のチェックがないが。

A 環境農林課長 土地の汚染調査には、放射能濃度の項目はなく、事業計画をしっかりと確認する必要があると考えています。

Q 1日4000台のダンプの出入りによる道路の破損や渋滞は。

A 環境農林課長 道路の損害や渋滞に関しては適切な指導を考えています。許可に関する法令は、県森づくり課（森林法十条の一）、小川町農業委員会（農地法五条）、東松山環境管理事務所（県生活保全条例及び土壌汚染対策法）であるが、いまだのような状況なのか。

A 環境農林課長 県では昨年12月までは相談を受けたとのこと。農業委員会への話はありません。東松山環境管理事務所へは事前相談があったそうです。



再びコミュニティと山河の破壊、汚染の舞台となるか。旧プリムローズC・C入り口。

Mini Column
オガワマチのことギカイのこと一緒に見よう、考えよう
「小中学校再編について」

再編で学校がなくなってしまうの。心配です。
(S・Sさん・38歳)

解説 加配・特配3
学校ごとに決められている教員定数に乗せて教員を配置すること。

小川町の教育が充実するのであれば、考えていってほしい。
(N・Sさん・54歳)

人口が3万人を下回る状況では、GOだね。
(A・Sさん・32歳)